

講座③ つくってとばそう ゆっくりライダー

【ものづくりで子どもから大人までの地域交流を深める】

令和2年2月21日

講座③グループリーダー 藤田 育夫

書記 斎木 成治

| | | |
|----------|--|-----------------------|
| 開催日時 | 令和2年2月9日 | 午後1時～3時半（受付12時30分開始） |
| 会場 | 葛飾公民館 講堂 | |
| 対象及び参加者数 | 応募定員 35名 | 当日参加者 31名 支援者1名 |
| 講師 | 西村 元一氏 | EWeekJapanコミュニティのメンバー |
| 司会進行 | 藤田 育夫（グループリーダー以下「GL」と記す） | |
| 実技サポーター | 三部 治美、岡崎 啓、三神 房子、後藤 雅代、中山 美和子 元橋 武雄、斎木 成治 | |

1. 趣旨及び学習目標

(1) 趣旨 昨今の地球温暖化による異常気象により大規模災害が多発していることに鑑み、防災・減災には地域の絆の構築が不可欠である。そこで、「公民館」を地域の基盤に、子どもからシニアまで、あるいは親子間・三世代間にわたる交流を促進し、絆を深めて地域一体となった取り組みに役立てればとの思いで企画した。

別添資料1 グライダーの作り方 参照

(2) 学習目標 子どもとシニア世代、シニア世代間の融和を促進するにはいかなるイベントが適切かと討議した結果、やさしい「ものづくり」を一緒にすることがいいのではないかと方向性でまとめ藤田GLの提案で、グライダーづくりに決定した。以後、講師の選定・企画の骨子については藤田GLを中心にまとめた。事前に全員でグライダーづくりに挑戦し、その面白さを体感し、一体感が構築されていった。

2. 準備の経過 それぞれの役割分担については授業による進め方の指導に沿って進めて行きました。

まず、進め方について協議を行い、基本骨子の役割分担を決めた。

- ① 講師の選定・依頼は 藤田GLが担当
- ② チラシの作成 三神 素案作成担当
- ③ 目的・実施場所・日時・参加人数・参加費用について合議で決めた。
詳細についてつぎの通り決定した。
 - ㊦ 場所・人数 葛飾公民館 講堂 参加規模 35人
 - ㊧ 実施日時 令和2年2月9日 13:00～15:30
 - ㊨ 講師 西村 元一
 - ㊩ チラシ 三神作成の素案で検討 修正は藤田GLに一任
 - ㊪ 参加費 100円/一人（保険50円 材料費50円）
材料費の内訳は添付資料2による
- ④ 設営・スケジュールは三部、斎木、元橋が担当し、素案作成する。

- ⑤ 書記は齋木が担当、指導事項・グループ内議事録・提出メモを作成し周知をはかった。
- ⑥ 講師面談・事前打ち合わせの実施
 令和元年12月14日(土) AM10:00~12:00
 葛飾公民館において西村講師と面談し、企画の説明、段取りについて説明する。設営担当の作成した当日のスケジュールについては修正の指導を受ける。合わせて実技指導も受けた。
 出席者 藤田GL、三部、岡崎、後藤、中山、齋木
 市民大学 西本様、大村A
 今後の課題としてはチラシの成案決定へと移った。
- ⑦ 材料の調達・袋詰・持込み等の準備作業について
 材料の調達・公民館への持込みは藤田GLが実施
 袋詰等は全員で実施

3. 当日のスケジュール

- (1) 11:45 事前打ち合わせの実施
 特に受付の集金、誘導について確認
- (2) 11:55 講師到着 藤田GL対応 状況説明
- (3) 12:00 設営担当中心に配置計画書により設営開始
- (4) 12:20 設営完了 受付準備完了
- (5) 12:30 受付開始 参加者の誘導開始
 講堂の入口、公民館にて参加者誘導
- (6) 12:55 講師はじめ主催者側 配置につく
- (7) 13:00 講座開始 藤田GL開会挨拶 講座の目的趣旨並びに概要説明
 講師紹介(経歴含め)
- (8) 13:15 西村講師による自己紹介あり、座学開始へ
 グライダーについて動画により説明(スクリーン使用)
 13:20 作成指導開始 一番小さいグライダー(資料標記100%)
 作成時のポイントについては動画により説明
 作成終了者から飛ばし始める。飛ばし方等ポイント解説
 全員で飛ばし始める 講堂内は笑顔と歓声に包まれる
 13:50 休憩に入る
 14:00 作成指導開始 中くらいのグライダー(配布資料120%)
 14:40 ハト形グライダーの作成への挑戦が始まった。指導開始
 15:00 希望者による演台からの飛ばし始まる。 添付資料3参照
- (9) 15:15 西村講師による総括
 「配布の大型グライダーについては持ち帰り作成してください。
 大変たのしい時間を過ごしました。」 とのこと言葉を頂く
- (10) 15:18 講座終了 藤田GL下記の趣旨の挨拶あり
 参加者への謝辞
 講師、関係者へのご支援対する御礼

15:20 閉会

参加者見送り、会場の撤収・清掃開始

アンケートの整理、参加費の確認等の業務完了

(11) 15:50 当日の反省会

藤田GLによる当日反省会実施、報告書の提出があるので、各位より、反省点・課題についていての提出指示があった。報告書は斎木作成

16:00 解散

4. 当日の様子

天候にも恵まれ、概ねスケジュール通りに講座を実施することができた。

設営に時間的余裕がなかったが、事前準備と当日開始前打合せにより、受付開始の10分前には準備作業は終了した。

講座のライター作成、その飛ばし状況は別添写真による。

咳をしている人もほとんどなく、けがをする人もなく、皆さん笑顔でお帰りになった

5. アンケート結果

| | | |
|--------------|-----|----------|
| (1) 当日の講座参加者 | 31名 | |
| 回収件数 | 27名 | (回収率87%) |
| 評価 a | 18名 | 67% |
| 評価 b | 8名 | 30% |
| 評価なし | 1名 | 3% |

但し、評価b・評価なしの方々の感想は全て「楽しかった、面白かった、童心に帰った」と記されており、皆さんから良い評価をいただいたものと解釈したい。

(2) アンケートの回収率について

回収率は87%については初めての講座開催経験であり、当班としては自らの評価できないが、親子連れ等の家族づれの参加者において代表して1名で回答され方がおられるのではと推測する。

(3) 参加者アンケートのコメントの一部紹介

70歳代 男性 : 年齢を問わず皆さん夢中になって楽しんでおられた。遊び心と創作する喜びを味わった。良い機会に感謝します。

60歳代 女性 : 小学1年生と母親の同じチームになった。初め、3人のサポーターのおじいちゃん達に「大丈夫か？」と囲まれ時は固まっていた子が、わからないことがあったら、聞くと教えてくれるよ。とアドバイスするとそのうち、打ち解けて子どもから積極的に聞いていた。これが講座の狙いですよね。おじ様達も無邪気にライターを飛ばしている姿は最高でした。

6. 評価・課題

(1) 評価

講座内容の提案の段階から自前の講座を立ち上げたいと藤田GLを中心に提案して実施できたことに、ものづくり班として各方面に支援をいただきましたことを

感謝申し上げます。評価としてはアンケート結果から概ね参加者に楽しんでいただいていると思う。特に講師の簡潔明瞭な説明、司会者の的確な進行や丁寧な指導、小グループによる個別指導も評価をいただいたものと思う。

(2) 課題

参加対象を子ども～シニアまでと広げ、世代間を乗り越えて一緒に作業することをイメージしていたが、子ども達（特に親子連れ）参加が少なかったことが残念であった。受験シーズンと重なったことや新型コロナウイルスへの予防対応の影響があったこと等が子ども参加が少なかった要因と考えられる。

- ① 結果として、時期の問題・チラシを含めたPRのあり方に工夫の余地があったと思われる。
- ② 公民館入口付近の照明が暗く、会場への誘導がスムーズにいかない場面もあった。立て看板の位置、大きさに工夫の余地があったことや下見の重要性を認識した。

(3) 主催者スタッフの所見

藤田GLのやさしく粘り強いリードに感謝するとともに、やり終えた達成感を共有した。メンバー8名がそれぞれの持ち場でしっかり参画し、当日もサポーターとして動き回り、各自も楽しそうであり、それも評価をいただいた一因と思う。また、どこかで当該講座を催したい気概も共有した。

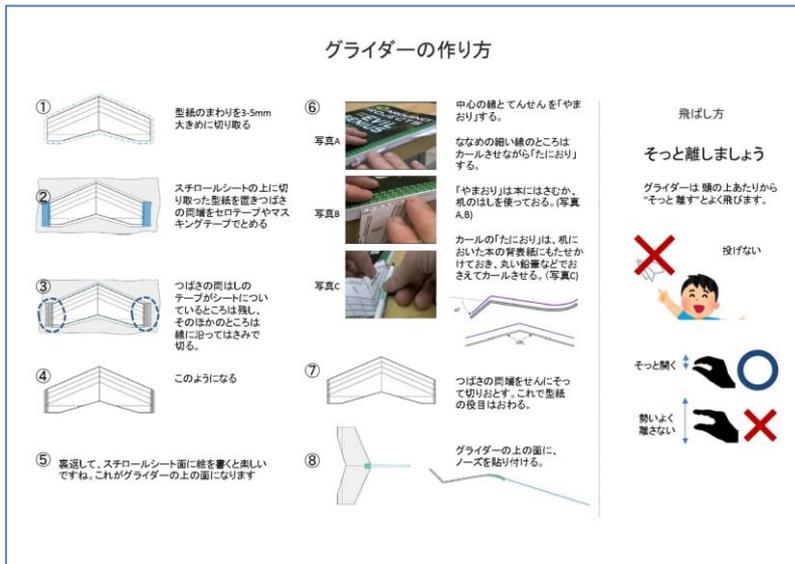
7. スタッフ名簿

| 講座③グループのスタッフ名簿および作業分担 | 〇印 | 責任者 |
|-----------------------|--------|----------------------------------|
| 講師 | 西村 元一 | |
| リーダー | 藤田 育夫 | 〇進行・司会 (総括・講師手配対応・配置計画 公民館対応) |
| | 三部 治義 | 〇誘導・設営 (連絡担当) |
| | 岡崎 啓 | 誘導・設営 |
| | 元橋 武雄 | 〇撮影・設営 |
| | 三神 房子 | 〇受付・会計 (チラシ担当) |
| | 中山 美和子 | 受付 |
| | 後藤 雅代 | 受付 |
| | 斎木 成治 | 〇設営・報告書 (書記担当) |
| 市民大学 | 西本 様 | |
| | 寺田 RS | |
| | 大村 RA | |

添付資料は下記の通りです。

| | |
|-----|------------------------------|
| 資料1 | ライターの作り方 |
| 資料2 | 材料費の明細 |
| 資料3 | 講座の状況 (工作・飛ばし風景) |
| 資料4 | 当日の作業状況 (事前事後打合せ・受付誘導・個別指導等) |
| 資料5 | スタッフ写真 |

資料1 グライダーの作り方



資料2 材料費の明細

| 材料名 | 購入の場合の商品名 | ショップ | 購入単位 | | 単純一個分費用 | 一人あたり配布数 | 単純一人あたり | 40人ケース | | | 作成枚数 | 購入数 | 購入費用 |
|----------|--------------|----------|------|-----|---------|----------|---------|--------|--------|-------|------|-----|----------------|
| | | | 価格税込 | 個数 | | | | 必要購入数 | 必要購入費用 | 一人あたり | | | |
| バックグランド | ピュアバックS23-36 | パッケージプラザ | 660 | 100 | 6.6 | 1 | 6.6 | 1 | 660 | 16.5 | | 1 | 660 |
| ダンボール板 | 廃品利用(スーパー) | - | 0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.0 | 1 | 0 | 0.0 | | 0 | 0 |
| 発泡スチロール板 | 発泡何でも板A4 | ダイソー | 110 | 20 | 5.5 | 6 | 33.0 | 12.0 | 1,320 | 33.0 | <= | 240 | 12,320 |
| 型紙印刷 | (市民大学にて印刷) | - | | | | 5 | 0.0 | 200 | 0 | 0.0 | | | 1,980 |
| 作り方説明書 | (市民大学にて印刷) | - | | | | | | | | | | | ↑ |
| マスキングテープ | (講師準備) | - | | | | | | | | | | | @50円x40人で20円余る |
| 丸棒(鉛筆など) | (講師準備) | - | | | | | | | | | | | |
| 厚手の雑誌など | (講師準備) | - | | | | | | | | | | | |
| ハサミ | (各自持参、公民館) | - | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 39.6 | | 1,980 | 49.5 | | | |

資料3 講座の状況(工作・飛ばし風景)



資料4 当日の作業状況（事前事後打合せ・受付誘導・個別指導等）



資料5 スタッフ写真

